劇場版 笑ってさよなら～四畳半 下請け工場の日々～ (2011)

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 日本

色彩 Color

時間 60分

初公開日 2012/04/21

【解説】

名古屋の放送局CBCが製作し、2010年5月に放映され大きな反響を呼んだドキュメンタリーの劇場版。世界四大映像祭の一つでもある国際番組コンクール“モンテカルロ・テレビジョン・フェスティバル”のニュース・ドキュメンタリー部門で、日本の民放では初の快挙となるゴールデンニフ賞（最優秀賞）を受賞。本作の主人公はトヨタ自動車の4次下請けをしている小さな工場（こうば）を営む元気なおばちゃん、小早川弘江さん。“上の会社”の都合に振り回される厳しい現場ながら、小早川さんは作業の間もよくしゃべり、たった四畳半の工場には笑いが絶えない。しかし“トヨタショック”を経験した小早川さんは、エコカーブームで仕事が増える中、追い詰められる前に笑ってさよならしようと廃業を決断する。本作は、そんな下請け工場の廃業までの日々を追うとともに、厳しい現実を明るく吹き飛ばす小早川さんのバイタリティあふれる姿をカメラに収めていく。

【クレジット】

ディレクター 西田征弘

プロデューサー 大園康志

構成 松永英隆

撮影 安田耕治

ナレーション 平泉成